



家電4品目の分解はダメ 正しい方法でリサイクルを

不要になった家電4品目（エアコン、テレビ、冷蔵庫・冷凍庫、洗濯機・衣類乾燥機）を処分する際に「リサイクル料金がかかる」「処分手続きが面倒」という理由で、自分で家電を分解し、ごみ集積所や清掃センターへ搬入していませんか。

家電4品目の分解・解体には、次のとおり、大きなリスクが潜んでいます。

危険物質の流出

冷蔵庫やエアコンには、地球温暖化の原因となるフロン類や、人体に有害な鉛などの有害物質が含まれている可能性があります。個人で解体するとこれらの物質を放出させてしまう恐れがあります。

分解しても「資源」にはならない

家電リサイクル法では、消費者がリサイクル料金を負担、小売店が引取・運搬、メーカーがリサイクルするという役割をそれぞれ担っています。解体すると、リサイクルできるはずの資源が無駄になってしまいます。

家電4品目は、家電リサイクル法によりリサイクルが義務付けられており、ごみ集積所や清掃センターに出すことができません。次のいずれかの方法で処分してください。

家電4品目の処分方法は3つ

※いずれの方法も、リサイクル料金が発生します。

● 処分する家電を購入した店舗または、新しく家電を買い替えた店舗に依頼する。

● 郵便局でリサイクル料金を支払い、自分で指定引取場所まで運搬する（事前に指定引取場所にお問い合わせください）。

● 市内の指定引取場所
 (株)アルプス物流北上営業所盛岡デポ
 所在：大更第1地割239番地6
 ☎75・2277

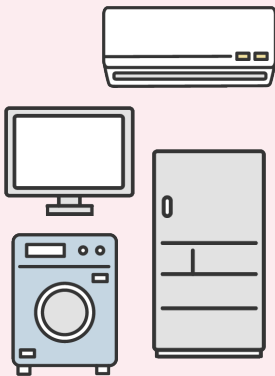
● 市が許可する一般廃棄物収集運搬業許可業者へ引き取りを依頼する（有料）。

※許可業者は、市ホームページを確認してください。



詳細はこちら

家電4品目



生態系を壊す特定外来生物 オオハンゴンソウの駆除を

オオハンゴンソウは北米原産の植物で、夏に鮮やかな黄色の花を咲かせますが、繁殖力が非常に強く在来種の生息場所を奪い、地域の生態系を壊してしまいます。

外来生物法により「栽培・保管・運搬」が原則禁止されており、私たちの手で広げない対策が必要です。

特徴

多年草で、わずかに残った地下部の茎根から芽を出して再生したり、条件が整えば、種子が働き出す（休眠性）といった厄介な特徴があります。

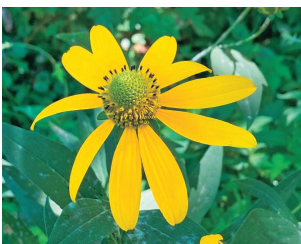
5月頃から発芽し、7〜10月頃に開花します。

駆除のポイント

根ごと抜く 地下茎から再生するため、根をしっかりと引き抜きます。

その場で枯らす 生きたままの状態での運搬は禁止されています。

袋に入れ、数日間天日に当てて完全に枯らしてから燃えるごみで処分してください。



この広告は、広告主の責任において市が掲載しているものです。広告の内容について市が推奨などをするものではありません。

耳鳴り、めまい、頭痛、皮膚の痒み等

漢方のあさひ薬局

八幡平市大更25-118-1 (国道282号沿い) TEL.0195-75-2227

<https://www.asahi-kanpou.com/>

御相談予約専用 携帯からもご利用できるようになりました!

☎0120-204077



漢方のあさひ薬局@八幡平市
ID @083kkehm